

「不易流行」

「よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさない(流行)によって、

「理想」を創造する」

人生や仕事の成果

「考え方×熱意×能力

新年度がスタートし、江府町役場にも新しい職員が加わりました。町報4月号で顔写真付きで紹介されていますので、気軽にお声をかけてくださるとありがたいです。新規採用職員については、私が直接研修を行うことも計画しています。公務員として、江府町役場の職員としての取り組み姿勢など、基本的なことが中心になるとは思いますが、大切に育てたいと考えています。

さて、4月20日に開催された明德学園の入学式の挨拶でも紹介しましたが、京セラの創業者である稲盛和夫さんの著書「生き方」に人生の方程式というものが書かれています。それは「人生や仕事の成果＝考え方×熱意×能力」というものです。「熱意」は情熱や努力する心、「能力」は才能や知能で、それぞれ0点



江府町から見える大山は「右肩上がり」

から100点まであるそうです。最も大切なのは「考え方」でこれはマインス100点からプラス100点までであるとのこと。いくら熱意や才能があっても、この考え方がよくないといけません。どうしたらいいかというと、プラス方向の考え方をするのでそうです。「常に前向きで建設的」「感謝の心を持ち、みんなと一緒に進もう」という協調性を有している」「明るく肯定的」「善意に満ち思いやりがあり、やさしい心を持つている」「努力を惜しまないこと等々。自分自身、こういうプラス方向の考え方ができているかどうかを、日々振り返ることはもちろんのこと、職員に対して、伝えていこうと思います。そして、江府町全体に、前向きで明るい空気が行き渡り、住民の皆さんが生き生きと暮らし、笑顔のあふれる町になればいいと願っています。

「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム報告

昨年の10月よりスタートした「3000人の楽しい町プロジェクトチーム」。今回はこの春から新たに増えた2名のメンバーの紹介をします！



農林産業課 下村純也さん
(高校ではハンドボールのキーパーをやっていました)

農林産業課の下村純也といいます。役場で働き始めて今年で4年目となりました。生産調整・日本型直接支払の担当をしています。

普段の仕事はもちろんのこと、たくさんの人と関わり、幅広い視野を持つてまちづくりに取り組んでいきたいと思今年度から3000人プロジェクトチームのメンバーに参加しました。町中で見かけたらぜひ「下村君」と声をかけてください！今後ともよろしくお願いたします。

4月から3000人の楽しいまちづくりプロジェクトに参加しました。教育委員会教育課の川上柊維です。公民館や青少年育成、文化祭などを担当しています。

私がプロジェクトに参加したきっかけは、「もつと農業の視点を取り入れたい」と思ったからです。

農林産業課に在籍していたころにたくさんの方と一緒になりました。私を助けてくださり、農家としており、農家さんが楽しく働けるような元気な町にしたいと思一念発起しました。

町民の声や意見を聞き、3000人の楽しいまちづくりが実現できるようにがんばっていききたいです。



教育委員会教育課川上柊維さん
(公民館講座のお問い合わせは私まで！)

動画で町報こうふ!



前回の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。